

愛知ミニリーグ競技実施要項

(シニア用)

1. 競技規定

現行の公益財団法人日本バスケットボール協会規則に則る。ただし、一部は今大会の規定に従って実施とする。

2. 競技時間

(1) 23日(土)2試合、24日(日)1試合、(24日体験教室の参加者と交流試合する予定)

① 8分の4クォーターで実施し、時間は流す。各クォーターの間にインターバルは2分、ハーフタイムは4分とする。

② フリースロー、タイムアウト、交代の場合は時間を止める。それ以外に、審判から指示があった場合も止める。

③ タイムアウトは前半(1Q, 2Q)に1回、後半(3Q, 4Q)に1回とする。

④ 試合前のアップは10分間とする。

⑤ 引き分けの場合は、フリースローによる**サドンデス方式**で勝敗を決める。

1Q	インターバル	2Q	ハーフタイム	3Q	インターバル	4Q
8分	2分	8分	4分	8分	2分	8分

3. 試合球

大会公式試合球と練習球は、モルテン社製ボールを使用する。

4. ウェアに関する規定

(1) 組合せ表に向かって左側のチームが淡色(白色)、右側のチームが濃色を着用とする。

またベンチは組み合わせ表の左側チームがテーブル・オフィシャル席に向かって右側のベンチとする。

(2) 番号は0番又は00番から99番まで使用できる。

(3) 色、形とも統一されたリバーシブルを着用すること。

(4) リバーシブルは濃・淡(白色が望ましい)必ず用意すること。

(5) アンダーウェアは、リバーシブルからはみ出さないこと。シャツからはみ出してしまう上半身用および腕用のサポーター用のもの

(パワーサポーター、パワースリーブなど通常のサポーターも含む)を着用してもいいが、出来れば、白・黒色の統一とする。

- (6) パンツの下にパンツより長いパンツ様のもの（アンダーガーマント、パワータイツなど）をはいても良いが、白・黒色の統一とする。
- (7) サポーター（下着と分離しているもの）は着用可能ですが、繋がっている着衣（スパッツ等）は着用不可とする。

5. シニア競技ルールについて

- (1) 競技ボールには 6 号球を使用します。
- (2) 女性がボール主導権を握った場合、男性選手が女性選手のシリンダー内に接触した場合は、バイオレーションとみなされ、サイドラインから再開します。また、女性選手がシュートを行う際には、男性選手によるブロックは許されません。ブロックされた場合もバイオレーションとされ、サイドラインから再開します。シュートファウルがあれば、フリースローとなります。
- (3) 女性選手の得点は 2 倍とされ、フリースローの際には 1 点が 2 倍となります。

6. オンザコート2について

- (1) 聴者の選手は、オンザコート 2 のルールで対応する。
- (2) 聴者の選手は、手首またユニフォームの前面の見えるところにカラーテーピングを貼る。

7. 試合開始時刻について

- (1) 原則として組合せ表の時刻通りに開始する。
- (2) 前の試合が遅れた場合等は、ゲームの開始前に 5 分のインターバルをおく。
- (3) 日時により試合開始が異なるので、十分に確認を行い、前のゲームの最終クォーターには当該コートに待機する。

8. 没収について

試合開始時間に 5 名揃っていないチーム、また、各種事項や、注意事項、主催者からの説明を守らない場合は、その選手が所属するチームの試合は没収とする。

9. その他

- (1) 閉会式・コートでアップする際、チームの服装の色を出来れば統一（または同色系）する。
- (2) タトゥーがある場合はテーピング、サポーター等で見えないようにする。
- (3) 選手は競技中に相手を傷つける恐れのある次のものを着用禁止とする。（指輪・ピアス・ヘアピンなど）
- (4) 試合中は補聴器の着用を認めない。補聴器はベンチに入る際に外すこと。
- (5) 大会エントリーされた者及び選手以外は、いかなる理由でもベンチに入る事はできません。
- (6) 受付終了後のエントリーの変更(背番号等)は一切認めません。